

# ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業って!?

～すべての子どもにわかりやすい授業をめざして～

ユニバーサルデザインとは、すべての人が利用しやすく、暮らしやすいように、ものづくりやまちづくり、環境づくりを行うという考え方です。

この考え方を授業に取り入れると、**すべての子どもにとってわかりやすい授業を行う**、ということになります。特別な支援を要する子どもに配慮した授業の工夫を行うことが、すべての子どもにとってわかりやすい授業づくりにつながります。

## どの子ども安心できる授業の進め方 4つのポイント

- **ポイント①** 授業中のルールが分かる
- **ポイント②** 見て分かる
- **ポイント③** 見通しがもてる
- **ポイント④** 安心できる学習環境

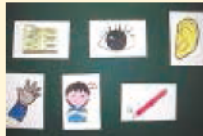
- 〇〇中学校 授業十ヶ条
- 一、前時の授業の振り返りを必ず行う
  - 二、あそび時間40分、入場時間10分
  - 三、授業中の挨拶・声かけを必ず行う
  - 四、授業中は机を動かさない
  - 五、聞くときは、起立を必ず行う
  - 六、積極的な発言を必ず行う
  - 七、発表するときは、失敗を恐れない
  - 八、友達の間違った発言を必ず指摘する
  - 九、分からないことは、その時間内に分かるようにする
  - 十、困っている友達がいいたら、積極的に教え合おう
- \*「校舎の」には理解が深まるように  
積極的に教え合おう

### ポイント① 授業中のルールが分かる

授業のルールを全校で統一している学校があります。このような掲示があることで安心して授業に参加できる子どももいます。

### ポイント② 見て分かる

思いついたら話し出してしまう子どもや、状況を読み取りにくい子どもにとって、行動をコントロールするきっかけになるように使われています。



課題に取り組む時間を視覚的に示すことで、残り時間がどれくらいかを見て理解することができます。



### ポイント③ 見通しがもてる

1時間の学習のめあて（目標）と流れを黒板に記入することで、見通しをもって学習することがしやすくなります。

### ポイント④ 安心できる学習環境

友達と相談する場があることで、自信をもって発表できる子どももいます。さらに、グループで話し合う場を設けることが人と関わる力を高めることにもつながります。